



寒い日々をお過ごしの中、早く暖かい春が訪れてきますようにと願いたいですね？  
今日も体調を維持できるように、暖かくしてお過ごしください。



### チョコレートの歴史

2月14日はバレンタインデーです。それでチョコレートの歴史について語ろうと思います。

実はチョコレートは、紀元前から「神様の食べ物」と呼ばれ、その当時はチョコレートの原料カカオが通貨として使われていたとされています。

#### チョコレートはいつから今みたいに甘くなった？

実は大昔のチョコレートは苦かったそうです、もともとは薬として、飲まれましたが、大昔のチョコレートドリンクは、薬の味しかせず、人の口に全く合いませんでした。どうやって甘くなるのかを考えて、蜂蜜を入れてチョコレートを甘くしました。甘いチョコレートは全世界の人々が、あまりにも美味しいと評判でした。次第に砂糖を入れてみて、更においしくなりました。しかし、その時代の砂糖はかなり高級食材であって、入手が困難で今の100円で買えるチョコレートがかなり高級品だと言われていましたが、時代が過ぎていくうちに砂糖がだんだんと普及していき、チョコレートがブームになり、現在のチョコレートができたそうです。

#### 日本でチョコレートが初めて販売されたのはいつなの？

チョコレートが、日本で初めて販売されたのは1877年で、販売された時代が明治なのでそこから会社名が meiji と名付けられたと噂されています。(T・Y)



### 人気の猫の品種 BEST3

2月22日は日本の「猫の日」です。由来はニャンニャンニャンという猫の鳴き声です。1987年に、猫の日実行委員会と一般社団法人ペットフード協会によって、「猫と一緒に暮らせる幸せに感謝し、猫とともにこの喜びをかみしめる記念日を」という趣旨のもと制定されました。

そんな猫の日になんで、人気の猫の品種 BEST3 を紹介します。

#### ①スコティッシュ・フォールド

スコティッシュ・フォールドは、その名の通りスコットランド生まれで、フォールド(fold)は折りたたむという意味です。折れ耳が特徴的なスコティッシュ・フォールドですが、耳が折れる確率は30%程度と言われており、立ち耳のタイプもあります。生まれたときには立ち耳になっているのが一般的で、2週間から3週間くらい経過すると、徐々に耳が折れ曲がってきます。また、被毛も短毛種と長毛種の2タイプが存在し、短毛種のほうが比較的多くなっています。成猫は3～6kg程度の大きさで、猫の中では大きすぎず小さすぎずという大きさです。

#### ②マンチカン

マンチカンの名前の由来は、英語の「Munchkin (マンチキン)」です。マンチキンとは、子ども、小さいという意味がある言葉です。短い足が特徴的で、足の長さは大人になっても10cm程のようです。ですが、短足猫が生まれる可能性は全体の2割程度で、残りは普通の猫と変わらない足の長さか、短足と足長の中間にあたる「中足」で生まれます。成猫の大きさは2～4kg程度で、やや小さめか一般的なサイズです。

#### ③混血猫

混血猫とは2種類以上の猫同士から生まれた純血種以外の猫のことで、「純血種の猫同士をかけあわせて生まれた猫」と「もともと日本にいる猫から生まれた雑種猫」の2パターンがあります。一般社団法人ペットフード協会の「令和元年 全国犬猫飼育実態調査」によると、雑種猫は日本で飼育されている猫の75%を占めていると言われています。雑種猫はペットショップやブリーダーさんから購入することは基本的になく、捨て猫や野良猫、保護猫から飼い猫になることがほとんどだそうです。混血猫は身体も丈夫で、平均寿命は14.3歳と他の品種に比べて長いです。

#### 他にも

アメリカン・ショートヘアやノルウェージャン・フォレスト・キャットなど、たくさんの種類の猫がいます。自分のお気に入りの猫について調べてみるのも面白いと思います。(K・T)

